

「安心して住み続けられる公共交通ネットワークを目指して」

「郡上市地域公共交通網形成計画」を策定しました

◆計画期間：平成30年度～平成34年度（5年間）



◆地域公共交通網形成計画とは

郡上市では、平成23年3月に「郡上市地域公共交通総合連携計画」（以下「連携計画」という。）を策定し、様々な取り組みを実施してきましたが、平成29年度で計画期間に達したことから、連携計画の基本的な方針を踏襲しつつ、残された課題や新たな課題を市民の皆さんと共に考え、持続可能な地域公共交通網を形成するため、新たに「郡上

市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

この計画は、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。策定にあたっては、郡上市地域公共交通会議を中心に、各地域での公共交通懇談会の開催や、市民アンケートなどを実施し、市民の皆さんの公共交通に対するご意見の収集や、調査、分析を行い、計画の内容をまとめました。

◆計画の基本となる方針

地域公共交通網形成計画の基本方針は、連携計画の基本方針を踏まえながら、高齢者等の視点からの施策展開を加え、次の4つを基本方針としました。これらの方針に掲げる諸施策を展開し、安心して住み続けられる公共交通ネットワークの構築を目指します。

《基本方針1》

「地域の実情に適した公共交通の確保」

安心して住み続けられるまちづくりを目指して、公共交通の幹線・支線を「網（ネットワーク）」として見直し、利用しやすい運行形態や、交通空白地の解消を図り、地域の実情にあった公共交通を確保します。また、高校生の安心安全な通学の足として、運行ダイヤの見直しなどによるさらなる利便性の向上を図ります。

《基本方針2》

「高齢者等が安心して暮らせる公共交通の充実」

高齢者などの日常生活を支えるため、バス路線や運行ダイヤの見直し、バス車両のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン

タクシーの導入助成など、利用しやすい交通を目指します。また、高齢者の介護予防を目的とした「おでかけ」を支援するため、公共交通と福祉が連携して移動手段の充実を図ります。

《基本方針3》

「観光需要に対応した公共交通の充実」

公共交通を活用した移動方法を、観光客へ分かりやすく情報を提供するなど、観光地を楽しく巡っていただけるよう環境整備を行います。また、市外からの幹線交通（高速バスや長良川鉄道）と市街地・観光地を結ぶ交通の確保に取り組みます。

《基本方針4》

「持続可能な公共交通の推進」

持続可能な公共交通を目指し、引き続き長良川鉄道と路線バスの連絡定期や共通定期、長良川鉄道のシルバークル制度などの周知に努めるとともに、路線バスなどによる通学利用を推進し、効率的な運行を図ります。また、近年、深刻な問題となっている運転手不足に対しては、バス・タクシー事業者への運転免許取得補助制度を創設し、公共交通全体の基盤の強化に取り

今後の取り組み・施策事業

- ①公共交通路線の見直し・改善
 - 幹線・支線の路線網の維持・見直し
 - 道路網の変化による新たな需要に応じた交通網の構築
 - 交通拠点での乗り継ぎの向上（鉄道を含む）
- ②地域の実情に合わせた運行形態の見直し
 - 運行実態と利用ニーズに合わせた運行ダイヤの見直し
 - 定時定路線バスのデマンド化の検討
- ③交通空白地域の解消
 - 既存の運行ルート等の見直し
 - 地域団体等による移動手段の導入
- ④地域住民との協働による取組
 - 自治会、各種団体等による利用の促進
 - 地域の懇談会等での地域ニーズの把握と協議
- ⑤高齢者等が利用しやすい環境整備
 - 高齢者等の日常生活のための路線の維持
 - 【福祉計画との連携】福祉有償運送・タクシーとの連携
 - バス車両のバリアフリー化
- ⑥わかりやすい公共交通の実現
 - わかりやすい路線表示等の実施
 - 高齢者等への乗り方などの情報提供
- ⑦観光需要への対応・掘り起こし
 - 幹線からの2次交通の確保
 - 観光客への情報発信
 - タクシーの利用促進
- ⑧公共交通の利用促進
 - 高校新入学生の試乗体験の継続実施
 - 乗車体験イベントの継続実施
 - 免許返納者への利用促進の継続実施
 - 長良川鉄道の利用促進
 - 地域の商店等と連携した利用促進
- ⑨公共交通の運行の効率化
 - 運行経費の適正化
 - バス車両の小型化
 - 運行体制の強化
 - 路線バス等での通学利用の促進



▲地域懇談会の様子



▲車椅子でも乗車可能なユニバーサルデザインタクシー



▲高校入学説明会での利用促進

基本方針

1. 地域の実情に適した公共交通の確保
2. 高齢者等が安心して暮らせる公共交通の充実
3. 観光需要に対応した公共交通の充実
4. 持続可能な公共交通の推進

目指す姿

- 移動の権利を尊重する交通ネットワークの構築
- 市民が安心して生活できる公共交通の構築
- 市民協働による育てる公共交通の構築

全体方針

安心して住み続けられる公共交通ネットワークの構築

組みます。

《計画の今後について》

地域公共交通網形成計画は、新たな需要や課題に対応するため、適宜必要な見直しを行うこととしていきます。見直しに際し

ては、引き続き各地域で公共交通懇談会などを開催し、意見の収集や改善策の検討を行うほか、市の公共交通会議において協議を行い、課題などを解決するために必要な施策について計

画に反映していきます。今後とも、市民の皆さんと一緒に、安心して住み続けられるための公共交通を目指していきますので、ご協力をお願いいたします。